

## フリッツ・ラング

Fritz Lang

生年月日 1890/12/05

出身地 オーストリア=ハンガリー／ウィーン

没年 1976/08/02

関連人物 テア・フォン・ハルボウ（元妻）

## 【バイオグラフィ】

■建築家をめざしていたが、20歳で家を飛び出し世界各国を旅した。その後パリで絵画を売って生計を立てているうちに第一次大戦が勃発、軍へ入隊。16年の除隊後、映画脚本を書くようになり何本かがドイツで映画化。19年に自らの脚本を初演出、3作目の「黄金の湖」がヒットして一流監督となる。その後、「ドクトル・マブゼ」、「メトロポリス」、「M」などドイツ映画黄金期を築いた。母方がユダヤ系であるため、第二次大戦中にナチから逃れてパリへ逃亡。34年にハリウッドに招かれ商業作品を撮った。妻は脚本家でもあったテア・フォン・ハルボウ（22年結婚）で、「ドクトル・マブゼ」以降、32年の「怪人マブゼ博士」まで共同で脚本を担当していた（同年離婚）。76年に病死。

## 【フィルモグラフィ】

メトロポリス (1984)	監督, 脚本
パパラッツィ (1963)	出演
バルドー／ゴダール (1963)	出演
軽蔑 (1963)	出演 : フリッツ・ラング
怪人マブゼ博士 (1960)	監督, 脚本
大いなる神秘／王城の掟 (1958)	監督
大いなる神秘／情炎の砂漠 (1958)	監督
条理ある疑いの彼方に (1956)	監督
口紅殺人事件 (1956)	監督
ムーンフリート (1955)	監督
仕組まれた罠 (1954)	監督
復讐は俺に任せろ (1953)	監督
青いガーディニア (1953)	監督
無頼の谷 (1952)	監督
熱い夜の疼き (1952)	監督
アメリカン・ゲリラ・イン・フィリピン (1950)	監督
ハウス・バイ・ザ・リバー (1950)	監督
扉の陰の秘密 (1948)	監督
外套と短剣 (1946)	監督
緋色の街／スカーレット・ストリート (1945)	監督, 製作
恐怖省 (1944)	監督
飾窓の女 (1944)	監督
死刑執行人もまた死す (1943)	監督, 原案, 脚本
マン・ハント (1941)	監督
西部魂 (1941)	監督

地獄への逆襲 (1940)	監督
真人間 (1938)	監督, 製作
暗黒街の弾痕 (1937)	監督
激怒 (1936)	監督, 脚本
リリオム (1934)	監督
怪人マブゼ博士 (1932)	監督
M (1931)	監督, 脚本
月世界の女 (1929)	監督, 製作, 脚本
スピオーネ (1928)	監督
メトロポリス (1926)	監督, 脚本
ニーベルンゲン／クリームヒルトの復讐 (1924)	監督
ニーベルンゲン／ジークフリート (1924)	監督, 脚本
ドクトル・マブゼ (1922)	監督
死滅の谷 (1921)	監督, 脚本
黄金の湖 (1919)	監督, 原作